

# ¡VIVA MÉXICO! 6月

日墨戦略的グローバルパートナーシップ 広島大学総合科学部 田代涼

## Amigos para siempre



さあ、もう6月がやってきてしまいましたね。メキシコに来てからたくさんの出会いがありました。クラスで一緒だった人、旅行先で知り合った人、レストランやバーであった人、友達の家族…。メキシコにきて約一週間後のことです。地下鉄に友人と乗っていました。すると、今では慣れましたが急に電車が止まってしまいました。不安になっていたところ、たまたま乗り合わせていた女の子が、「大丈夫だよ、いつものことだから」と話しかけてくれました。そしてその子と Jalisco という州にある Puerto Vallarta という場所にて再会することができました。実際に2回ほどしか会ったことはありませんでしたが、あたかも長年の友人かのように素敵な時間を過ごすことができました。また世界のどこかで会えるのではないかと思います。このような出会いが私にとって一生忘れられない記憶として残っていくのでしょうか。

## Pride

世界ではどんどん同性婚を認める州や国が増えています。メキシコシティでは同性婚と同性カップルにおける養子縁組が2009年に合法化されているそうです。現在はメキシコ全土での合法化を目指しているそうです。



しかし、実際同性愛者が殺されてしまうというケースも少なくない

そうです。そんな中メキシコシティでは6月28日にLGBTのパレードが行われました。いつも車が通る大通りは人で一杯になり、実際何人か同性愛者の友人がいますが、ここまで多く存在するのかということに驚いたとともに、同性を好きになる人、異性を好きになる人、どちらも愛せる人が、自分たち自身を表せるというのはとても大事なことであり、法律のみならず、一人一人が当たり前のこととして認識していく必要があると改めて思いました。

## Canta y disfruta la vida

今回が最後のセメスター、ずっと行こうと考えていた語学学校の放課後の歌クラブに参加することにしました。人前で歌うこと、ましてや喋ることが苦手であった私にとっては大きなステップでした。スペイン語の曲を歌うのは、歌詞を覚えるだけでなく、発音やイントネーションなども大切であり、思ったよりも壁は高かったです。



しかし、友人や先生の助けにより本番は思っていた何倍も楽しむことができました。これで CEPE での授業が全て終わりました。ここで学んだのはスペイン語だけではなく、メキシコの文化、またいろんな国籍のクラスメイトとの関わりにおいて学んだ、国それぞれの考え方を受け入れることなど、日本では気づけないこと、

数え切れないほどです。外国語を学ぶことは日本の英語教育からも顕著に見られるように、恥ずかしいもの、難しいものと捉えられがちです。確かに簡単な道ではありません。しかし、メキシコという地でスペイン語を学んだことで、言語はコミュニケーションの一つであるということを再認識できたように思います。あと一ヶ月、ゆっくりとした時間を過ごしながら、また新たなメキシコの良さを知っていきたいと思っています。